

平成 29 年度東部クリーンセンター放射性物質濃度等測定結果

●焼却灰等放射性物質濃度（単位：焼却灰等 Bq/kg、排水 Bq/L、排ガス Bq/m³）

第 1 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 29 年 4 月 17 日	熔融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 ^{※2}	33	220	253
	熔融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

第 2 回

採取日	検 体		放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 29 年 5 月 15 日	熔融スラグ ^{※1}		不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 ^{※2}		40	290	330
	熔融不適物 ^{※3}		不検出	13	13
	主灰 ^{※4}		不検出	30	30
	飛灰 ^{※5}		21	160	181
	排水		不検出	不検出	不検出
平成 29 年 5 月 25 日	排ガス ^{※6}	1号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 29 年 5 月 12 日		2号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 29 年 5 月 11 日		2号熔融炉	不検出	不検出	不検出

第 3 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 29 年 6 月 15 日	熔融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 ^{※2}	44	310	354
	熔融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

第4回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成29年7月14日	溶融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 ^{※2}	36	260	296
	溶融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

第5回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成29年8月15日	溶融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 ^{※2}	34	250	284
	溶融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出
	主灰 ^{※4}	不検出	36	36
	飛灰 ^{※5}	37	240	277
	排水	不検出	不検出	不検出
平成29年8月21日	排ガス ^{※6}	1号焼却炉	不検出	不検出
平成29年8月23日		2号焼却炉	不検出	不検出
平成29年8月24日		2号溶融炉	不検出	不検出

第6回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成29年9月15日	溶融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 ^{※2}	38	270	308
	溶融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

第7回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成29年10月2日	溶融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 ^{※2}	28	220	248
	溶融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出
	不燃残渣	不検出	不検出	不検出

第8回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成29年11月16日	溶融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 ^{※2}	26	260	286
	溶融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出
	主灰 ^{※4}	不検出	20	20
	飛灰 ^{※5}	21	190	211
	排水	不検出	不検出	不検出
平成29年11月20日	排ガス ^{※6}	1号焼却炉	不検出	不検出
平成29年11月22日		2号焼却炉	不検出	不検出
平成29年11月27日		1号溶融炉	不検出	不検出

第9回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成29年12月8日	溶融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 ^{※2}	29	250	279
	溶融不適物 ^{※3}	不検出	11	11

第10回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成30年1月12日	熔融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 ^{※2}	26	200	226
	熔融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

第11回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計	
平成30年2月13日	熔融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出	
	熔融飛灰 ^{※2}	24	210	234	
	熔融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出	
	主灰 ^{※4}	不検出	不検出	不検出	
	飛灰 ^{※5}	10	95	105	
	排水	不検出	不検出	不検出	
平成30年2月28日	排ガス ^{※6}	1号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成30年2月21日		2号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成30年2月21日		1号熔融炉	不検出	不検出	不検出

第12回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成30年3月9日	熔融スラグ ^{※1}	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 ^{※2}	11	110	121
	熔融不適物 ^{※3}	不検出	不検出	不検出

※1 熔融スラグとは、焼却灰を高温で溶かし（熔融し）、冷却・固化してできるガラス状の物質をいう。

※2 熔融飛灰とは、焼却灰を高温で溶かす（熔融する）ときに発生し、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※3 熔融不適物とは、焼却灰に含まれる未燃分（主に金属類）のことをいう。

※4 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

※5 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※6 10月までは2号熔融炉が稼働、11月からは1号熔融炉が稼働。

●敷地境界空間放射線量 (μ S v /時) ^{マイクロシーベルト}

第1回 (平成29年4月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年4月26日	0.06	0.06	0.06	0.05	0.07

※地表面から1mの高さで測定。

第2回 (平成29年5月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年5月31日	0.07	0.06	0.07	0.07	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第3回 (平成29年6月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年6月26日	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第4回 (平成29年7月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年7月26日	0.08	0.08	0.08	0.07	0.08

※地表面から1mの高さで測定。

第5回 (平成29年8月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年8月30日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第6回 (平成29年9月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年9月27日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第7回 (平成29年10月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年10月25日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第8回 (平成29年11月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年11月29日	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第9回（平成29年12月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成29年12月25日	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第10回（平成30年1月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年1月31日	0.07	0.06	0.07	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第11回（平成30年2月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年2月28日	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第12回（平成30年3月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年3月28日	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。